

新型コロナウイルス感染症への対応について（第十一報）改訂版①

本学では「新型コロナウイルス」の感染拡大防止を図り、「命を守る行動」を最優先に、国及び地方自治体の方針等を踏まえ、全学的に取り組んでいます。

つきましては、政府が示す「新しい生活様式」の実践とともに、新潟県による「県民の皆様へのお願い」や本方針について、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

《主な改訂内容》

- ① 「(9)移動の制限について」に関し、本学としての「移動後の自宅待機が必要な地域等」の明確化を図りました。
- ② 「(7)体調不良があるときや感染した場合等について」に関し、ご家族等がPCR検査を受けることになった場合などを想定し、より詳細に記載しました。

記

1. 適用期間：2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）
なお、上記の適用期間中であっても、下記の内容について適宜見直すことがありますので、ご了承ください。

2. 実施する内容

(1) キャンパスへの入構制限について

《学生各位》

＜入構を認める用務等＞

学生は、次の用務に限りキャンパスへ入構できるものとし、用務が済んだら速やかに帰宅するものとします。

- ・ 授業（実験・実習等）
- ・ 研究活動（研究室担当教員が、活動時間帯を指定します。）
- ・ 「図書館」の利用
- ・ 「事務室」における用務
- ・ 「学生相談部門（カウンセリング）」の利用（要予約）
- ・ 「キャリア支援室」の利用（要予約）
- ・ 自習（指定された場所のみ可）

・（遠隔授業実施期間中）遠隔授業を受講するうえで自宅に通信等の環境が整っていない場合や、一日の中で遠隔授業と実験・実習などの面接授業の間隔が短く、移動に要する時間が不足する場合の学内での遠隔授業の受講（キャンパスにおける滞在学生数を極力少なくするため、自宅に通信等の環境が整っている場合は、該当科目を可能な範囲で自宅において受講してください。）

<キャンパス滞在可能時間帯>

滞在可能時間 平日 7：30～21：00

※遅くとも21：00までに、退構（下校）してください。

なお、平日夜間（21：00以降）及び土休日の滞在は、禁止します。

<研究活動を行う場合の注意事項>

・大学院学生や卒業研究の研究活動については、研究室担当教員による活動時間帯の指定を受けたうえで、指示に従って研究活動を行ってください。

なお、夜間及び土休日の滞在は、禁止します。ただし、研究室担当教員の判断のもとで、真にやむを得ない場合（大学院生の研究、卒業年次生の卒業論文に係る実験、及び生物等の観察・管理など）については、限られた時間帯のみ、入構を認めて研究活動等を行える場合があります。

・研究室担当教員は、下記の事項について対応してください。

①学生ごとに研究を行える時間帯を指定するなど、同時間帯における滞在人員がクラスター（集団）発生のリスクが高いとされる「3密」の状態にならないよう、滞在人員を調整してください。

②配属学生の入退構を把握するとともに、配布された研究室ごとの「入構台帳」に記載することにより記録を残してください。

③下記のキャンパス滞在可能時間帯に関わらず、学生ができるだけ早めに帰宅できるよう、配慮してください。なお、夜間及び土休日における活動時間帯の指定は、禁止します。ただし、真にやむを得ないと認め、限られた時間帯のみ入構を認める場合には、あらかじめ学部長（または研究科長）に所定の「キャンパス入構届出書」を届け出ることとし、細心の注意を払い、実施してください。

<感染症対策の徹底>

・入構する方（学生、教職員及び委託業者社員を除く。）は、入退構時に受付で「入構台帳」に記帳してください。（所属・氏名、入退構時刻、体温、目的を記入）

・入構に当たり、下記の「感染症対策」を徹底してください。

（感染症対策）

①入構する全ての方は、キャンパス内では必ず「マスク」を着用してください。

- ② 新型コロナウイルス感染症対策の基本となる、「手洗い」(または手指消毒剤による消毒) 及び「咳エチケット」を励行してください。入構時以外にも、講義室や研究室等に入室する際は、必ず手指消毒してください。
- ③ 入構者は、あらかじめ自宅において体温を計測し、目安として37.5度以上の発熱がないことを確認してから、入構してください。(新津キャンパスではA棟「正面エントランス」及びC棟「学生ホールエントランス」、新津駅東キャンパスでは「正面エントランス」及び「エレベーターホール」にて、検温ができます。)
- ④ 学生は、毎日の起床時の体温を測定し、自覚症状の有無をチェックしたうえで、大学から配布される「健康記録カード」に記録し、通学時にはカードを所持して入構してください。アドバイザー教員若しくは研究室担当教員は、学生が所持する「健康記録カード」を必要に応じて確認し、学生の健康状態を把握するものとします。
- ⑤ 風邪の症状や目安として37.5度以上の発熱がある場合、強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)、嗅覚(におい)や味覚の障害がある場合は、入構を厳に控えてください。

《学外者の方》

- ・ 不急のご来訪については、感染拡大防止の観点から、お控えください。なお、入構を要する場合は、来訪人数を絞っていただいたうえで、各キャンパスの「正面エントランス」から入構のうえ、できるだけ短時間に用務を済ませてください。
- ・ 打合せ等は、できるだけメールやインターネットを介して行うことを推奨します。
- ・ 本学との共同研究契約等に基づく学外研究員の方は、本方針を遵守することを条件に、学内において研究に従事することを可能とします。

《納入業者の方》

- ・ 各キャンパスの「正面エントランス」から入構のうえ、できるだけ短時間に納入を済ませてください。

(2)授業形態等について

- ・ 2021年度の授業については、「2021年度の授業実施方針について」に基づき、実施します。詳細は、本学ホームページ掲載の「2021年度の授業実施方針について」を確認してください。ただし、今後の感染拡大に伴い、授業形態を変更する可能性があります。詳細については、「時間割表」や Portal NUPALS 等、大学からの連絡内容を常に確認してください。
- ・ 実験・実習科目については、感染拡大防止対策を講じたうえで、「面接授業(対面

授業)」の形態により行います。

・大学院については、原則として、学部と同様の対応となります。大学院学生は、大学からの連絡内容を常に確認してください。

(3)研究室、実験・実習時における注意事項について

- ・実験室及び居室（スタッフルームを含む）の換気を行う。（窓とドアは常時開放する。）
- ・全員による「手指消毒」を励行する。
- ・実験時における、マスク、保護メガネ等の着用を徹底する。（必要に応じて手袋を着用する。）
- ・実験前後における、実験者が触る部分（実験機器、設備等）のアルコール消毒を徹底する。
- ・学生実験室内における学生の移動による密集、密接を避けるよう、教員が誘導する。
- ・グループ操作を避け、個別操作となるような学生実験内容の工夫を行う。
- ・座席の配置、スタッフとの距離を保つよう工夫する。
- ・同時時間帯における滞在人員が「3密」の状態にならないよう、滞在人員を調整する。

(4)学外実習について

《臨床実務実習について》

・臨床実務実習については、「臨床実務実習における『新型コロナウイルス感染症』への対応について」及び「臨床実務実習の実施方針」等に基づき、運用します。また、一般社団法人薬学教育協議会病院・薬局実務実習関東地区調整機構などから実習について大学へ要請等があった場合は、要請等を踏まえて対応します。

・実習担当教員による実習先訪問については、実施を可能とします。ただし、実習担当教員は、実習先に連絡のうえ、訪問受入れの了解を得て訪問するとともに、実習先の都合を最優先してください。実習先の事情により、訪問受入れの了解が得られない実習先については、了解が得られるまでの間、訪問を控えるものとします。

（詳細については、「臨床実務実習連携システム」を参照してください。）

なお、政府が「緊急事態宣言」または「まん延防止等重点措置」の対象として指定した都道府県等にある実習先への訪問については、中止するものとします。

《教職関係の実習について》

・教育実習、介護等体験については、これらの実習を受け入れる各学校への新型コロナウイルス感染症の影響も考慮し、弾力的な取扱いや留意事項を示す文部科学省からの通知等を踏まえて、適切に実施するものとします。

《応用生命科学部学生の学外で行う研究活動（卒業研究及びフィールドワーク等）について》

応用生命科学部学生の学外で行う研究活動（卒業研究及びフィールドワーク等）のうち、アンケート又はインタビュー調査は「オンラインによる実施」を推奨します。しかし、これらの研究活動全般について、対面で実施せざるを得ない場合には、新潟県内に限って実施できるものとします。ただし、対面実施の場合は、次のことを遵守するものとします。

- ・担当教員は、必ず事前に学生のアンケート又はインタビュー調査の実施先から許諾を得ること。また、アンケート又はインタビュー調査の実施場所と実施日時を記録しておくこと。
- ・学生は活動期間中、体調管理に努め、体温や自覚症状の有無を記録し、体調不良の場合は活動を中止すること。また、学生は必ず「新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）」を利用すること。
- ・学生は活動期間中、必ずマスクを着用するとともに、「3密回避」の対策を講じること。また、学生はできるだけ「手指消毒剤」を各自で準備し、適宜消毒に努めること。
- ・グループで活動する場合には、少人数で編成する等の工夫を講じること。
- ・公共交通機関を利用して移動する場合には、可能な限り混雑する時間帯を避けて移動する等、感染防止に最大限努めること。

《その他》

- ・研究生等として他大学等において研究活動を行う場合には、受け入れ先の大学等の方針に基づき、研究活動に取り組むことを可能とします。
- ・政府が「緊急事態宣言」または「まん延防止等重点措置」の対象として指定した都道府県等におけるフィールドワークの実施については、中止するものとします。

(5)キャンパス等の運用について

別紙「学内施設等運用一覧」により運用します。

(6)各種窓口・連絡先

- ・本学では、新型コロナウイルス感染症への対応として、各種窓口を新たに設置しています。学生の皆さんは、「不安なこと」、「分からないこと」などをそのままにせず、気軽に連絡してください。

窓口	対応内容	連絡先
遠隔授業ヘルプデスク	遠隔授業に関する質問や技術的な相談に対応する「遠隔授業ヘルプデスク」を設置しますので、希望者は遠慮なく利用してください。	enkaku-support@nupals.ac.jp
教務課	修学（履修や授業計画等）に関する質問や相談に応じます。	shugaku-support@nupals.ac.jp
学生支援課	学生生活に関する一般的な質問や相談のほか、新型コロナウイルスによる影響で学納金の納付に支障が生じた場合の相談にも応じます。	gakusei-support@nupals.ac.jp 0250-28-5397 (学生支援課直通)
学生支援総合センター	「学生相談ルーム」では、学生生活や私生活における悩みや困りごと等の各種相談（カウンセリングを含む）に応じますので、希望者は予約のうえ利用してください。	予約サイト： 学生支援総合センターHP (メールフォーム)
	【応用生命科学部学生用】 「学修支援部門」では、オンラインによる学習相談を行います。希望者は「学修サポート室」まで、メールで問い合わせてください。	nss@nupals.ac.jp
	「キャリア支援室」では、就職に関する相談に応じますので、希望者は予約のうえ利用してください。詳細は、ポータルサイト等を確認してください。	careersoudan@nupals.ac.jp 電話 0250-25-5355 (キャリア支援室直通)
	新型コロナウイルスへの感染が疑われる方や心配な方からの相談に応じます。	gakuseisoudan@nupals.ac.jp

<p>薬学部 薬学教育センター</p>	<p>【薬学部学生用】 「薬学教育センター」では、オンラインによる学習相談を行います。希望者は「薬学教育センター」まで、メールで問い合わせてください。</p>	<p>edu-pharm@nupals.ac.jp</p>
<p>図書館</p>	<p>図書館への相談や問い合わせ等に応じます。</p>	<p>tosho.soudan@nupals.ac.jp</p>

(7)体調不良があるときや感染した場合等について

《相談・受診の前に心がけること》

・発熱、息苦しさ・強いだるさ、風邪のような症状といった体調不良があるときは、登校／出勤せず、自宅待機のうえ、外出を控えてください。なお、この場合において、学生が自宅待機する期間中は、欠席扱いにはしません。（2文科高第238号令和2年6月5日付け、文部科学省高等教育局長通知「大学等における新型コロナウイルス感染症への対応ガイドラインについて（周知）」に基づき運用する。）

・学生支援総合センターでは、新型コロナウイルスへの感染が疑われる方や心配な方からの相談に応じます。

≫新型コロナウイルス専用 メールアドレス：gakuseisoudan@nupals.ac.jp

≫電話番号：0250-28-5397（学生支援課）

・発熱、息苦しさ・強いだるさ、風邪のような症状といった体調不良があるときは、自分で判断せず、まずは、電話でかかりつけ医などの医療機関に相談してください。また、体調不良があるときには、「健康記録カード」を活用して、毎日の体温のほか、症状を記録しておいてください。

《ご家族等が PCR 検査を受けた場合》

・「同居する家族等が濃厚接触者として PCR 検査を受けることになった場合」または「感染が疑われて同居する家族等が PCR 検査を受けることになった場合」は、結果が陰性であることが判明するまで、登校・出勤をせず、自宅待機の上外出を控えてください。なお、この場合において学生が自宅待機する期間中は、欠席扱いにはしません。結果が陽性で濃厚接触者と判定された場合は、濃厚接触の項を参照して対応してください。

発熱したら、電話でかかりつけ医へ

11月から2月はインフルエンザの流行期です。新型コロナウイルス感染症の流行と重なる恐れがあります。発熱などの体調不良があるときは自分で判断せず、**かかりつけ医などに電話で相談し、受診してください。**早期治療は重症化や感染拡大の防止につながります。



引用元：「市報にいがた令和2年11月1日臨時発行号」

《受診・相談センターに相談する目安》

・以下のいずれかに該当する場合には、登校／出勤せず、自宅待機のうえ、すぐに電話で「受診・相談センター」に相談してください。なお、この場合において、学生が自宅待機する期間中は、欠席扱いにはしません。

☆重症化しやすい方（※）で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

（※）高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の呼吸器疾患の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

※症状が4日以上続く場合は必ず相談してください。症状には個人差があるので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤等を飲み続けなければならない方も同様です。

※「受診・相談センター」に相談したら、その後、速やかに大学に報告してください。

○新潟県ホームページ（受診・相談センター一覧）

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kenko/corona-center.html>

なお、新潟市の受診・相談センターは、電話025-212-8194です。

(9)移動の制限について

《教職員》（新潟県内外を問わず、非常勤講師等を含む。）

- ・国内出張については、不急の出張は、厳に控えてください。
- ・出張、私的な旅行を問わず、下記のいずれかに該当する地域への移動歴がある場合に、転入日（帰着日）を起算日として、「7日間」の自宅待機を要請します。

①政府が「緊急事態宣言」の対象として指定した都道府県

②政府が「まん延防止等重点措置」の対象として指定した都道府県内の区域

※移動する前に、必ず各自で移動先が上記①か②に該当するかを確認すること。

（自宅待機の例）

前日を含め3日前に新潟県内に転入（帰着）した場合には、当日を含めて向こう4日間の自宅待機を行っていただきます。（8日目から入構できます。）

これらの地域への移動歴がある場合には、電話かメールにより事務部学事課へ連絡してください。また、これらの地域がどの都道府県を指すか等については、移動前に各自で十分確認してください。

・やむを得ず出張あるいは私的な旅行を行う場合は、感染症対策（手洗い及びマスクの着用を含む咳エチケット等）を励行のうえ、目的地の最新の感染状況を確認のうえ、場合によっては出張（旅行）を取りやめる判断を含め、慎重に行動してください。

なお、出張は、主として大学運営上欠かせない学生募集活動や公的な会議への出席等を目的とする場合に認めるものです。研究打合せ等は、できるだけメールやインターネットを介して行うことを推奨します。（不明な点は、事務部学事課へお問い合わせください。）

・薬学部臨床教員による臨床研修については、研修を可能とします。ただし、臨床教員は学務を最優先にするとともに、実施に際しては、研修先と相談のうえ、研修受入れの許可を得てから行ってください。

・海外出張については、禁止します。

《学部学生》

・国内出張については、教職員の引率を、原則とします。（上記のとおり、教職員と同様の取扱いとします。）

・海外出張については、禁止します。

・私的な旅行については、上記のとおり、教職員と同様の取扱いとします。

《大学院学生》

・国内出張については、上記のとおり、教職員と同様の取扱いとします。

- ・海外出張については、禁止します。
- ・私的な旅行については、上記のとおり、教職員と同様の取扱いとします。

(10) 大学・教職員による集会等について

・大学や部局・センター等が主催する学外者を招集して開催する催事については、感染防止策を徹底し、人数の制限や催事の様態を熟慮のうえ、感染源とならないよう十分注意することを前提に、実施を認めます。また、高校生及び保護者等による新津キャンパス及び新津駅東キャンパスの見学希望者への対応策として、1組当たり3名を上限（予約制とし、大学担当者が同行すること。）とし、同一時間帯に1組までの入構を認めるものとします。なお、今後の感染拡大の状況によっては、催事の開催を制限する場合があるものとします。

・飲食を伴う催事については、原則として禁止します。ただし、オープンキャンパスや長時間キャンパス等に滞在する必要がある催事については、「3密」に十分注意することを前提に、提供を認める場合があるものとします。（この場合、事前に新型コロナウイルス感染症対策本部に提供の可否に関する判断を受けてください。）

・貸切バス等の運行を伴う催事については、原則として禁止します。ただし、オープンキャンパス等、運行する必要がある催事については、事前に新型コロナウイルス感染症対策本部に運行の可否に関する判断を受けてください。

・私的な会食のうち、「3密」の条件に合致するものについては自粛を要請します。

なお、私的な会食そのものを妨げるものではありませんが、「3密」の状態をつくらぬよう十分注意してください。

・研究室において学生等が食材を調理のうえで食事をとることについては、研究室における滞在時間の延長等につながることから、感染防止対策の趣旨を踏まえ、厳に控えてください。

・教授会等の定例会議、委員会及び研究打合せ等については、短時間で済ませるか、メールやインターネットを介して行うことができる場合には積極的に代用するほか、会議の回数を極力抑制し、授業等の準備時間の確保を組織的に推進します。

(11) キャンパス閉鎖要件について

・構成員に新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合、或いは実際に陽性反応が確認された場合は、直ちに保健所等との連携のもと、キャンパスの一部または全部を閉鎖することも含めて、消毒等の必要な対応について判断します。閉鎖する場合には、キャンパス内には必要最小限の職員や委託業者社員が従事することとし、それ以外の全ての構成員の入構を禁止します。

・キャンパスの閉鎖に際しては、教職員に対しては学内メールを活用し、学生に対しては Portal NUPALS 及び本学ホームページにより、必要な連絡を行います。

《関連ホームページ》

【厚生労働省】

- 新型コロナウイルス感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

- 新型コロナウイルスに関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

【文部科学省】

- 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html

【外務省】

- 海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

【新潟県】

- 新潟県内「受診・相談センター」一覧

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kenko/corona-center.html>

以 上

学内施設等運用一覧

各施設等の運用は全て平日のみのとし、利用可能時間帯等は下記の通りとします。

<新津キャンパス>

- ・学生は、A棟「正面エントランス」またはC棟「学生ホールエントランス」から入構してください。
- ・教職員及び一部の委託業者社員は、入退管理装置が設置されたドアから「キャンパスカード」(教職員証等)により入構してください。

場所	利用可能時間帯	利用制限等
事務室	8:35～17:30	なし
キャリア支援室	8:45～16:45	
保健室	8:35～17:00	
図書館	9:30～17:20	座席数の制限あり
情報実習室	9:00～17:00	印刷のみ利用可 滞在可能時間30分以内
自習室	9:00～17:00	座席数の制限あり
カフェテリア	8:30～17:00	座席数の制限あり
(食事優先時間)	12:00～13:30	
カフェテリア食事提供	11:00～14:00	
カフェテリア食券販売	10:30～14:00	
購買	8:30～17:00	なし
体育館等の運動施設	-	授業を除き閉館
F棟セミナー室	閉室	
L棟(サークル棟)	閉棟	

<新津駅東キャンパス>

- ・学生は、「正面エントランス」または「駐車場側通用口(要学生証)」から入構してください。
- ・教職員及び一部の委託業者社員は、入退管理装置が設置されたドアから「キャンパスカード」(教職員証等)により入構してください。

場所	利用可能時間帯	利用制限等
事務室	8:35～17:30	なし
図書館分室	9:30～17:20	座席数の制限あり
自習ラウンジ(4F)	9:00～17:00	
APPホール	8:30～17:00	

<その他、閉室等>

場所	備考
スクールバス	別途、運行ダイヤ等をHP等で公開
薬用植物園	閉園

<注意事項>

- ・この学内施設等運用一覧は、最新の「新型コロナウイルス感染症への対応について」に基づき運用されます。
- ・「新型コロナウイルス感染症への対応について」に変更がない場合であっても、状況により「学内施設等運用一覧」は変更される場合があります。